

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：石垣 善康 副会長：青島 彰 幹事：酒向 謙次 副幹事：大塚 博巳



【萩の花】

写真提供：鈴木 舜光君

第1876回

<ソング> 四つのテスト
<ソングリーダー> 櫻井龍太君



【2010-2011年度 RIテーマ】
地域を育み
大陸をつなぐ
レイ・クリンギンズミス
BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

■ 会長報告

石垣 善康君

10月は米山月間であり又職業奉仕月間でもあります。

米山記念奨学事業とは、ロータリアンからの寄付を財源として、日本で学ぶ私費留学生に奨学金を支給し応援する事業で、私たちが皆様の会費の中からクラブとして

一会員 2,000 円 個人として一名 10,000 円、合計 500,000 円を寄付いたしています。

そして、出身国と日本の橋渡し役として将来活躍してほしいとの目的です。

米山奨学金の支給を受けた中国の奨学生が帰国し、北京と上海で米山奨学生オービー会を組織したとの報道もあります。

10月の理事会についてご報告いたします。

12月のクリスマス例会について、親睦リーダーより提案がありました。

数人の理事より、予算について質問と提案があり、熱い意見交換の後、ほぼ概要が決定いたしました。会員の皆様には、ぜひ楽しみにしてください。

会場の小杉苑様より、会議室の利用料、プロジェクター利用料、そして例会での食事代の料金アップの依頼があり、理事会で協議いたしました。理事全員の意見として、一度交渉するようにとの決にいたったので、10月13日に、酒向幹事と一緒に料金据え置き又は、猶予期間を頂きたい旨、話しましたがいずれも物別れとなりました。

年間 130,000 円の負担増となるので、今後、会場を変更しての例会が増えると思いますが、会員皆様のご協力をお願いいたします。

幹事報告

酒向 謙次君

- 国際ロータリー第 2620 地区インターアクト小委員会より、「インターアクト指導者講習会」開催のお知らせが届いております。

日時：平成 22 年 12 月 12 日

午前 10 時～午後 3 時

場所：静岡県西遠女子学園

- (財)ロータリー米山記念奨学会より、ロータリー米山記念奨学会ニュース「ハイライトよねやま 128 号」が届いております。
- 第 2620 地区ガバナー事務所より、新しい表彰プログラム「クラブ・ビルダー賞」のご案内が届いております。この賞はロータリークラブをサポートし、強化するにあたって大きな影響をもたらしたロータリアンを称えるもので、各地区から 1 名の候補者を推薦することができます。推薦の締め切りは 11 月 1 日です。
- 藤枝市民ゴルフ大会実行委員会より、協賛金のお礼状が届いております。
- 国際ロータリー日本事務局より 11 月のロータリーレート 1 \$ = 82 円の案内が届いております。
- ガバナー事務所より、小山町災害見舞 (9 / 8 台風 9 号による) の報告が届いております。

出席報告

竹田 勲君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
29 / 43 67.44%	33 / 42 78.57%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

石割君 鈴木寿君 畑君 萩田君
松葉隆君 松葉義君 森下君 渡辺君
板倉君 落合君 酒井君 鈴木舜君 仲田晃君
水野君

(2)メイクアップ者

石割 郁子君(静岡中央)

ビジター

佐野 芳正君(藤枝南)

■ 米山奨学生卓話

国仲 智氏



「私にとっての日本」

藤枝クラブの皆様、こんにちは。はじめまして、国仲智と申します。6年ぶりにロータリークラブの舞台にもどりまして大変嬉しく思います。

まずは名前の紹介から始めさせていただきます。中国の河北省出身で中国名は王智(ワン・チ)です。3年前に日本の国籍に帰化しまして、国仲は私の日本の名前です。

私は20歳のとき、日本に来まして、17年間の歳月を日本で過ごしてきました。目を閉じて日本に来た最初に日のことがいつも浮かんできます。1993年10月13日のことでした。午前11時に成田空港に到着しました。飛行機を降りて見た日本の第一印象は「空はこんなに青いんだ!」。空気が澄んでいて遠くの山々が緑いっぱいとてもきれいでした。第二印象は、周りの人々を見ますとなんか急用でもあるか、皆の歩きが速かった。しかもあんなに大勢の人がいるのに、とても静かで不可解でした。これは第二の印象でした。

あれから17年経ちました。この17年間、大

勢の日本人に支えられたお陰で今の私はここにいます。その人たちを通して日本という国への愛着心が深まってきました。最初のアルバイト先の大井さん、ありがとう。あなたは最初に教えてくれた日本語は「だめ」という言葉でした。最初、僕は何をやっても駄目駄目とあなたに言われました。でも、私を特別に許してくれたことに感謝します。それは仕事のときでも日本語の勉強をしてもいいよということでした。携帯ラジオも買ってきて分からなくても聞けてあなたの言葉でした。

米山奨学生に選ばれたことに一生の誇りと思っています。奨学生そしてクラブの皆様の励ましの言葉のお陰で、学問に専念できて卒業論文が学校の優秀賞まで取りました。そして社会人になって就職も出来ました。卒業祝いのプレゼントも一生忘れられません。

今まで大勢の日本人に支えられてお世話になってきました。これからはロータリー精神に学んで恩返しをしたい。皆様どうぞ今後もよろしくお願いいたします。



(担当/櫻井君)